

様式 1 2

活動報告書

団体名	一般社団法人 あじーる
事業名	楠公からはじまるダイバーシティのまちづくり
事業実績の概要 (月日、参加者数等)	6～9月屋台作り のべ40名 10/29 吉田田タカシ トークライブ 70名 11/19 藤原ひろのぶお話会 40名 空き地整備、ハンコワークショップ、麴ワークショップ、キャンドルナイト、 なわてクリスマス会など
事業の効果	社会と接点のなかったこどもたちとも一緒にものづくりなどを楽しむ事で、 家から出るなど一歩踏み出すことができたり、主体的に動き出すようになる子 もでてきた。あたりまえだと思いう事を見つめ直し、価値観をアップデートする 事で、誰もが生きやすい社会になるよう、全国をかけめぐる登壇者のお話を聞 いて、私たち一人ひとりの行動が重要なのだと動き始める人が増えた。 市外からも人が集まり、四條畷を知ってもらう事ができた。
参加者からの声	トークライブでは、お話を聞いて息がしやすくなった。高齢者の方は50年前 にこの話を聞いたかった等。ワークショップでは親子で楽しめた等
今後の課題点、改 善点等	初めての試みが多く、告知が遅れるなど段取りが悪かったので事前準備を入 念にする。出店の際は客層やイベントの意義を十分に考える。
今後の展望	自店舗運営が始まったので、来期は商店街に人が集まるイベントを工夫する。
事業の自立に向 けた計画	食堂運営、魅力あるイベントに力を入れる。